

作成日：2025 年 3 月 25 日

研究協力をお願い

昭和大学歯学部口腔解剖学講座では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

骨膜の部位特異的構造の解析	
1. 研究の対象および研究対象期間	2023 年度から 2027 年度に昭和大学歯学部口腔解剖学講座に献体された方
2. 研究目的・方法	骨膜は骨の表面を覆う重要な組織であり、骨の機械的支持を担うだけでなく、骨折時には治癒に必要な細胞群を供給する重要な役割を果たします。骨の種類によって骨膜の厚さが異なることは既に報告されていますが、同一の骨内における部位ごとの詳細な差異については、未だ十分に解明されていません。 本研究の目的は、同一骨内における骨膜の部位差を詳細に解明することです。骨は、部位によって筋の付着状態や荷重のかかり方など、周囲の環境が大きく異なります。それに伴い、骨膜の厚さや細胞組成も変化することが予想されます。 本研究では、骨折が多発する橈骨と鎖骨、および骨の発生由来が異なる部位を含む下顎骨を対象に、骨膜の部位差を詳細に解析します。本研究により骨膜の部位差が明らかになることで、各部位の骨の特性に応じた最適な治療法の開発に貢献することが期待されます。さらに、この知見は再生医療や組織工学の分野にも新たな視点をもたらす可能性があります。
3. 研究期間	昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2028 年 3 月 31 日まで
4. 研究に用いる試料・情報の種類	骨膜の構造を把握するために必要な資料（X 線・マイクロ CT・組織学的所見） ご献体登録情報および死亡診断書から、性別および年齢、死因、傷病名を収集します。
5. 外部への試料・情報の提供	該当いたしません。
6. 研究組織	研究責任者 研究機関名 昭和大学歯学部 氏名井上 知

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学歯学部口腔解剖学講座 氏名：井上 知
住所：東京都品川区旗の台 1-5-8 電話番号： 03-3784-8155